



学びのひろば旭

vol.143

旭市教育委員会

教育総務課 (☎85-8617)

生涯学習課 (☎85-8627)

スポーツ振興課 (☎64-1132)



子どもたちの未来を切り拓く 小・中学校のICT教育

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童・生徒にタブレット端末が配布されてから5年目を迎えました。現在では、鉛筆やノートと同じ学習用具の一つとして、子どもたちの可能性を広げるために必要不可欠なツールとなっています。

タブレット端末の活用事例

●ドリル学習

小・中学校の教科書に沿った学習ができます。解答した時点で自動採点される機能もあり、例えば漢字練習では、書き順・とめ・はねを間違えると正しい書き方をすぐに教えてくれます。

●デジタル教科書

小学5年生～中学3年生の外国語の授業では、国が無償で提供するデジタル教科書を活用しています。英語を母語としている人の発音を聴けるので、リスニング力の向上につながり、理解を深めることができます。

●デジタルノートの活用

画面上のシートに撮影した写真を貼り付けたり、手書きで文字を書き込んだりできます。作成したシートを教室のモニターに投影することで、個々の考え方をクラス全員で共有することもできます。



タブレット端末



体育の授業でも活用

●心の健康を把握

児童・生徒が、現在の気持ちや体調などを報告できるアプリを活用しています。子どもたちの心の状態や変化を把握し、早期に問題を発見して適切な対応ができるよう見守っています。

ICT支援員を派遣

タブレット端末などのICT機器を活用した授業をサポートするため、支援員を各学校へ派遣しています。

支援員は、教員のICTスキル向上を目的とした研修の実施や、機器のトラブルが発生した際のサポートも行っています。

情報モラル教育

SNSによるトラブルに巻き込まれないよう、危険性を学ぶとともに、SNSへの投稿が自身や他人に及ぼす影響も考え、情報を発信する際の責任を理解し、適切に利用できるように学んでいます。